

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 25日

事業所名 きらりは一と那覇新都心

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	広く使うため体操用具等は適時片付け、机も折りたたみ式で用途に応じて設置しているためスペースを確保できている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	職員が送迎に出る際、安全に活動できるよう職員配置や活動内容を考えている。	送迎へ出るため、その時に対応できる方法へ変更しており、安全面に配慮している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0		階段でしか上れない所がある。上り下り困難な利用児がいないため、改善予定なし。訓練室では広く使えるよう段差や死角を作らないようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	支援終了後は室内や送迎車の清掃をしている。他活動内容に応じて、体操道具や机の出し入れを行い、適切な空間を確保している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	MTGで目標を話し合い、週に一度振り返りを行い必要に応じて業務改善に取り組んでいる。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	事業所の評価をもとに、職員で討議をし、業務改善に繋げている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		評価は行っていないが、得た評価については話し合いを行い、対策を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	定期的に職員研修(体操補助練習など)を行っている。	感染対策で受講する機会は減っているが、市町村で行うリモートでの研修には参加するようにしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	契約時に、アセスメントシートに記入をしていたが、児の課題面・困り感等聴き取りを行い、職員間でMTGを行った上で、計画を立てている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	アセスメントツールを使用し家庭や相談支援員と一緒に、実態の把握やニーズの把握に繋げている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	児童発達支援計画には、現在の状況に沿った発達支援(体操面・社会面)等の項目を入れており、必要な総合的な支援内容を設定するよう配慮している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	児童の成長に合わせて、段階を踏みながらそのときの目標に合わせた支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	職員間で連携し、週案を立て療育活動の共有化を図っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	職員間で活動内容に対してのねらい目的を共有し、日々の活動内容を決め進めている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	個別での支援と集団活動を取り入れている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	5	0	毎朝のミーティングにて実施している。	
	18	5	0	当日の支援終了後に、当日の出来事や明日の連絡事項など、毎日確認している。	
	19	5	0	毎日記録をつけており、次のベースアップに繋げている。	
	20	5	0	半年ごとにモニタリングを行い、支援プランの見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	21	5	0	児発管が出席しているが、全職員が対応できる体制をとっている。	
	22	5	0	家庭や学校、相談事業所など関係機関と連携し、情報共有を行いながら支援している。	保育園や子ども園、相談事業所などと情報共有や相談、報告を行い、適切な支援を行えるよう努めている。
	23	0	5	協力医療機関を設けている。	現在該当する利用児がいないため、今後必要があれば協力医療機関と連携体制を整えていく。
	24	0	5	協力医療機関を設けている。	現在該当する利用児がいないため、今後必要があれば協力医療機関と連携体制を整えていく。
	25	5	0	送迎時や会議で利用児の情報共有を図っており、支援内容の相互理解に努めている。	
	26	5	0		小学校や特別支援学校と会議を持ち、相互志R会をもつように心がけている。
	27	0	5		感染症対策のため、受講機会が少ないが、オンライン研修が可能可能な場合は受講するようにしている。
	28	0	5		感染症対策のため、交流する機会は持っていないが、コロナが落ち着いたら交流する機会を作っていく。
	29	1	4		コロナによって参加は控えたが今後は参加できるよう調整していきたい。
	30	5	0	送迎時に日頃の様子の子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている。	
	31	4	1		直接ペアレントトレーニングは行っていないが、研修の情報を保護者様へ発信している。
	32	5	0	契約時に、保護者と確認をしながら行っている。	
	33	5	0	職員間でミーティングをして支援計画を作成しており、「児童発達支援計画」を保護者と確認・同意をいただいている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎の際に、気になることや子育ての悩みなど、発達特性に沿って一緒に考えている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		感染症対策のため、保護者会など行うことができていないが、人数制限を行いながら参加できる場を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	即対応を心掛け、職員間でも共通認識として話し合いを設けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月カリキュラムの予定を配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	個人情報私用同意書を確認し、写真掲載に関しても慎重に行っている。	写真掲載同意書も契約時に同意をいただいたうえで取り扱っている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	個別に対応しており、一人ひとりの発達特性を考慮して伝えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		コロナにより行事開催、招待を行っていないが、今後感染症対策を行いながら、工夫して行っていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	職員間での共有ができしており、契約時などで保護者に周知をしている。	年に2回、避難訓練を実施しているが、保護者への周知を徹底的に行っていきたい。各マニュアルを作成しており、契約時に説明を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		年に2回、様々な災害を想定した訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	契約時に持病や服薬の情報を確認し、職員間で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	保護者と連携し、完全除去で対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ヒヤリと思う事態があると作成し、職員で共有をし、改善策を話し合っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	マニュアルを作成しており、虐待防止責任者を設置し、利用児の様子を細かく観察するよう心掛けている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	やむを得ない(利用児の危険に関わる)身体拘束等、職員間で周知徹底し、家族にその旨を伝えている。	保護者様へ、やむを得ない場合がどういう状況なのか、具体例をあげてわかりやすく説明をしている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。